

救急医療情報キット

自宅で体調が悪くなって119番したときや災害時などに、意識がなくても、しゃべることができなくても、自分の緊急連絡先や医療情報（持病、飲んでいるお薬、かかりつけのお医者さんなど）を入れた容器を、救急隊員に見つけてもらって、救急現場での迅速な処置や搬送に役立ててもらおう、というシステムです。

救急医療情報キットの保管のしかた

- ①救急医療情報シート等に、情報を記入し、半分に折って、円筒の容器の中に入れます。
- ②診察券のコピー、保険証のコピー、自分の写真（裏に名前を書いておきます）
現在飲んでいるお薬がわかるもの（薬局などでもらうシールやお薬手帳のコピー）
を、円筒の容器の中に入れて、キットの表紙に、名前、内容、作成日を記入します。
- ③円筒の容器を、マグネットミニポケットに入れて、冷蔵庫の横にくっつけます。
- ④救急医療情報キットを用意してあることを救急隊員に知らせるステッカーを、玄関のドアの内側にテープで貼りつけ、もう一方のステッカーを目に付く場所に貼ります。



救急医療情報キット利用上の留意点

- ①救急医療情報シートは、いつも新しい情報になっているように、家族の連絡先やお薬など、変更があれば、すぐに、書き変えるようにしてください。
（書き変えたら、必ず、表紙に変更日を記入してください。）
- ②自宅内に、ステッカーが貼られている場合は、本人及び同居人等の同意を得ずに救急医療情報キットの中身を見る場合があります。
- ③救急医療情報キットは、救急隊員が必要と判断した場合に限り、利用しますのでキットがある場合でも、救急活動の内容によっては、利用しないこともあります。また搬送先の医療機関に関しては、本人の状態によって決定されるため、キットに記載されている医療機関以外に搬送される場合もあります。